



今月の主な内容

軽米町協働参画町づくり

基本方針を策定……2～5

平成19年度町表彰式典……6～7

町民生涯学習フェスティバル……8～9

晴高児童館(木村あき子館長)の全園児7人がお祝いに駆けつけた老人ホームの誕生会で、女の子は振袖姿でひらひら舞扇を、男の子はカラスの衣装でこがらすかん三郎を披露しました。「カゼをひかないで、元気でいてください!」元氣あふれる園児のあいさつに、一つ年を取り戻した気分になされるお誕生祝いとなりました。

(写真は、2月20日に特別養護老人ホームくつろぎの家を訪れ手づくりの折り紙ペンダントを贈る晴高児童館の園児)

協働参画町づくり 基本方針を策定

結いの精神で活力ある
豊かな地域社会を創造



公共的サービスは、これまで行政が担うものとされてきました。近年、地域が抱える課題の複雑・多様化、住民の価値観・ニーズ（需要）の変化、行財政の緊迫化、スリム化などが進む中、行政だけでは十分な対応が難しくなっており、住民と行政との協働の町づくりが、以前にも増して必要となっています。本町では、すでに取り組みられている協働の事例がいくつかありますが、基本的な考え方を明確しながら、町民の皆さんと行政が共通の認識のもと、より広範に町づくり・地域づくりを進めるため「軽米町協働参画町づくり基本方針」を策定しました。その概要をお知らせします。

町が企画・募集し町民約230人が参加したハートフル・パークゴルフ場周辺の芝桜植栽作業（平成19年11月3日、ハートフル・スポーツランド内）

策定委員会が 町に最終答申

軽米町協働参画町づくり基本方針（以下「基本方針」と表します）の策定にあたっては、一般公募を含む軽米町協働参画町づくり基本方針策定委員会（日山一夫委員長）を組織し、二回の審議を行ってきました。

二月十三日に開催された同委員会での最終答申を受けて基本方針を策定。二十一日から二十八日まで町内九つの会場で地区説明会を開催し、町民の皆さんと意見交換を行いました。



協働参画町づくり基本方針策定についての答申書を山本町長に手渡す日山委員長（左）

地域づくりの 基本となる指針



町内9会場で開催された基本方針についての住民説明会

協働参画事業としては、これまででもクリーンアップデー（町内一斉清掃）、グリーンデー（植樹作業）、花いっぱいビューティ軽米推進コンクール、ユイコのケアドール事業（簡易舗装作業）などが行われてきました。地域によつては世代間交流や交通安全活動、防災活動などが盛んに行われています。

一方で、人口減少や少子高齢化、核家族化などから活動が停滞する地域がみられるほか、生活習慣や価値観の変化などにより地域の課題は複雑・多様化しています。行政も行財政改革に伴う地方交付

税の削減やスリム化などが進められ、地域の要望などへのすばやい対応が難しくなってきています。このような中でも、満足度の高い地域づくり・町づくりを進めようと「協働と参画の町づくり」が全国的に広がっています。

町民と行政は 対等なパートナー

基本方針では、協働参画の対象が「町民の自発的な意思に基づく生活向上などを目的とした非営利で公益的な町民活動を行う団体」とされています。具体的には、行政区や町内会、NPO法人、PTA、老人クラブ、体育協会などが想定されています。しかし、行政区や町内会では、著しい人口減少や少子高齢化が進み、単独での活動が困難になる可能性もあるため、将来

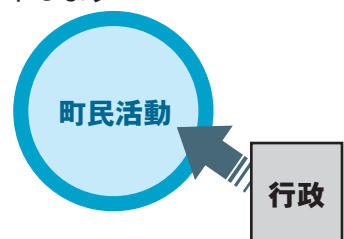
協働参画の領域と形態

町民活動と行政の領域が重なる場合に、お互いの果たす役割を認識し合い整理して取り組むこと（合意形成）が必要となります。右の図は、お互いのかかわりあい方の度合いを示しています。

町民活動の領域		協働参画の範囲		行政の領域
A	B	C	D	E
町民が自発的・主体的に活動する領域	町民主導の活動領域（行政の協力も必要）	町民と行政が連携・協力して行う領域	行政主導の活動領域（町民の協力も必要）	行政の責任と主体性で行う領域

B：町民主導型

町民活動を行政がサポートします



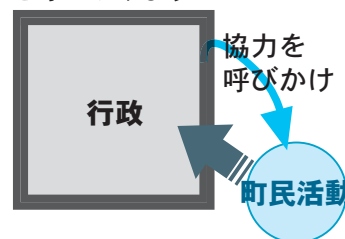
C：連携・協力的型

①企画から実施まで町民と行政が協働
②それぞれの企画・事業を一つにして実施



D：行政主導型

行政が町民に参画・協力を呼びかけます



卓球競技に12チーム

第30回町総体



(左から) Aブロック優勝の山内、Bブロック優勝の上館連合、Cブロック優勝の小玉川

**元気で活力がある
地域社会の創造へ**

基本方針の最終目標は「結いの精神による元気で活力がある豊かな地域社会の創造」です。これを実現する第一歩として、町民と行政が互いにその目的・意義を理解することが必要で、町では次のような意識啓発に取り組みます。

①町民意識の醸成
町民自身が「自分たちの地

域(町)は自分たちが創造していくんだ」という意識が重要であるため、自治組織の育成や町づくりリーダーの養成などの環境づくりに努め、結いの精神で協力し合える体制づくりを支援します。

②町職員の意識改革
「公共的なサービスの提供は町民と役割分担しながら進めること」を理解し進める職員の体制づくりと、意識高揚を図るため研修会などを計画的に進めていきます。



川の環境整備に取り組む雪谷川を守る会は27行政区などの住民主体で行われています

的には、現在の行政区を越えた新たな自治組織づくりの検討も必要としています。

そうした町民活動団体と協働参画の範囲などは、前ページの図のように、それぞれの主体性と依存性が重なり合う部分が範囲とされています。

協働参画の事業が実際に展開されるには、互いに役割をしっかりと把握し、対等な立場で合意形成を図りながら進める必要があります。基本方針では、住民と行政との対等性や自主性、役割・責任の明確化、相互理解、目的・目標の共有化、情報公開を協働参画を進めるうえでのルールとして掲げ、対等なパートナーとして協力し合うこととしています。

協働参画の推進へ 各種施策を展開

協働参画の推進に向け、町は次のことに取り組むことにしています。

①環境の整備

情報公開条例に基づいた町の情報公開を積極的に進めます。町民の皆さんの協働参画についての理解を一層深めるための研修会や懇談会を開催するとともに、生涯学習など主体的な活動への支援と参加の促進、活動の場の提供など協働パートナーとしての団体・組織の育成支援を行っています。

②施策の展開

協働参画の事業内容を審査し効果・成果などを客観的に検証・評価する第三者機関を組織します。役場内には、協働参画の推進委員会を組織し、地区担当員を配置するとともに事務マニュアルを策定します。町民の皆さんには協働参画実践集を作成し、町ホームページに専用コーナーを設けるなど積極的な情報提供を行います。

(4)協働参画の形態

協働の形態には、一般的に次のようなものがありますが、新しい基準やあり方を創造するなど目的達成のため最も効果的な方法を選択して取り組む必要があります。

- ①町民参画 ⇒ 行政主催に町民が参加
- ②政策提言 ⇒ 町民が企画を担い行政に提言
- ③協力・協定 ⇒ 両者が特性を生かし協力
- ④委託 ⇒ 行政が町民に業務を委託
- ⑤補助・助成 ⇒ 育成目的の公益的事業に行政が助成
- ⑥共催 ⇒ 町民・行政が双方の知恵と役割を持ち寄り共に主体となって取り組むもの
- ⑦後援 ⇒ 町民の取り組みに行政が後援として支援
- ⑧実行委員会・協議会 ⇒ 両者で構成し取り組むもの
- ⑨情報提供・交換 ⇒ 情報・意見の相互交換

(3)基本ルールを明確化

協働の形態には、目的達成のため最も効果的な方法を選択して取り組む必要があります。

そこで町民と行政の役割や責任のあり方を明確にした、協働参画の基本ルールを示します。

【基本的ルール】

- ①対等性・自主性の尊重
- ②役割分担・責任の明確化
- ③相互理解
- ④目的・目標の共有化
- ⑤情報の公開

(6)施策の展開

- 評価システムの構築
事業の効果・成果などを評価する第三者機関を設置し町民に公表を行います
- 庁舎内推進組織の設置
関係各課職員から構成する「推進検討委員会」や「推進地区担当員」の配置を検討します
- 町ホームページ「協働参画コーナー」の開設
基本方針や取り組み状況、課題などを情報提供
- 実践事例集の発行
町民と行政の協働参画事業の実践事例集を発行
- 事務マニュアルの作成
職員用事務マニュアルを作成し全庁的な推進を図ります

(5)環境の整備

- 情報の共有化
情報公開、広報活動、地域説明会を通じて情報提供を行い、要望、相談に迅速・適格に対応します
- 協働参画意識の醸成
町民意識の啓発と共に、職員にも協働参画に対する正しい認識と理解を深めます
- 町民参加の推進
町民参加の機会を広げると共に、生涯学習活動など自主的な活動を支援します
- 協働参画パートナーへの支援
地域の創意・工夫で行う地域づくり事業が進められるよう自治組織の充実・見直しと、地域協働参画チャレンジ事業の創設を検討します

(2)こんな効果が期待できます

協働参画は、満足度の高い地域づくりや地域の再発見、関心の高まりのほか、団体・企業にとっても公共サービスの担い手として社会的信頼や雇用の創出、活性化が期待されます。

【期待される効果】

- ①町民ニーズ・満足度に合った地域づくり
- ②コミュニティ活動の活性化
- ③地域の良さの発見、地域課題への関心
- ④新たな公共サービスの担い手など雇用創出
- ⑤行政のスリム化と職員意識の改革

(中学2年生以下) カデットは晴中が男女独占

第30回町長杯卓球選手権大会

第三十回町長杯卓球大会が二月三日、町民体育館で開催されました。小学校二年生から一般の部まで、町内外から延べ二百五十人が参加。会場内の各コートでは、優勝をめざして熱い戦いが展開されました。



カデットの部で個人、団体ともに優勝を獲得した小笠原洋祐くん(写真左、晴山中2年)

町長杯卓球大会の優勝者・チーム(敬称略)

＜ホープスミニ男子＞	高柳雄翔(笹渡小4年)
＜ホープスミニ女子＞	小笠原千怜(観音林小4年)
＜ホープス男子＞	小笠原涼馬(観音林小6年)
＜ホープス女子＞	小林杏里(観音林小6年)
＜カデット男子団体＞	晴山中
＜カデット女子団体＞	晴山中
＜カデット男子個人＞	小笠原洋祐(晴山中2年)
＜カデット女子個人＞	古里由希(晴山中1年)
＜アマチュア男子＞	高柳恒雄(高柳)
＜アマチュア女子＞	小笠原玲子(上谷地渡)
＜一般男子＞	木村 稔(九戸村卓球協会)
＜一般女子＞	長坂貴子(新潟青陵高3年)

個人10人と3団体を表彰

平成19年度町表彰式典



平成 19 年度町表彰式典に出席した被表彰者の皆さん

平成十九年度の町表彰式典が二月二十日、町農村環境改善センターで開催され、町勢の発展に功績のあった個人十人と三団体に町長表彰が贈られました。

山本賢一町長が「受賞者の皆様のこれまでのご努力に敬意と感謝を申し上げます。今後も各分野での更なる活躍を願っています」と式辞を述べ、受賞者一人ひとりに表彰状が手渡されました。

代表謝辞を行った紫葉種男さん（内城、七十三歳）が「今日の感激を胸に一層心を引き締めながら、今後も努力していききたい」とさらなる活躍を誓っていました。



謝辞を述べる紫葉さん

心に残る1冊

平成19年度町小中学生
読書感想文・感想画コンクール表彰式

最優秀賞と優秀賞受賞者
(敬称略)

- 【読書感想画部門】
◎小学校1・2年の部
最優秀賞 大下大輝 (笹渡小1年)
優秀賞 稲森円香 (円子小1年)
【読書感想文部門】
◎小学校3・4年の部
最優秀賞 鶴飼 梓 (笹渡小4年)
優秀賞 小野寺翔吾 (小玉川小4年)
◎小学校5・6年の部
最優秀賞 鶴飼智騎 (笹渡小5年)
優秀賞 田代千帆 (山内小6年)
◎中学校の部
最優秀賞 平 美咲 (小軽米中3年)
優秀賞 奥 裕香 (小軽米中1年)



大下大輝くんの
感想画作品
「とべバッタ」

平成十九年度の町小中学生読書感想文・感想画コンクール（町教育委員会、町立図書館主催）の表彰式が二月二十二日に役場で行われました。全七百七十七点の応募の中から、小学校低・中・高学年と中学生の各部門ごとに最優秀賞と優秀賞それぞれ一作品ずつが選考され、受賞者には中野新一町教育長から表彰状と記念品が贈られました。審査委員長の吉住俊子さん（観音林小学校長）が受賞者一人ひとりの作品について講評し「感想画や感想文を読みながら皆さんのことを思い浮かべた。どの作品からもそれぞれの思いや感動が伝わってきました」と話していました。

表彰された皆さん（前列が最優秀賞受賞者、後列が優秀賞受賞者）

平成19年度町表彰式受賞者と功績 (敬称略)

- 【地方自治の発展】
紫葉種男（内城、73歳）
長年にわたり町議会議員として町政発展に尽力
- 【教育の発展】
佐藤守弘（本町、76歳）
長年にわたり公民館運営審議会委員として社会教育の振興に尽力
- 【消防功労】
横島正彦（横枕、53歳）
尾田川正志（上尾田、53歳）
苅谷忠男（苅敷山、53歳）
竹原和雄（和当地、50歳）
南 初男（新井田、50歳）
宮川勝雄（上円子、48歳）
長年にわたり消防団・消防力の充実強化に尽力
- 【教育関係】
小玉川小学校（菊池敦子校長、児童23人）
平成4年から環境保護活動に積極的に取り組み平成19年度に文部科学大臣奨励賞を受賞
小軽米中学校（田村滋校長、生徒51人）
英語教育の充実発展に尽力し顕著な功績により平成18年度文部科学大臣表彰を受賞
軽米雁舞館スポーツ少年団（佐藤暢芳代表、会員32人）
第34回岩手県スポーツ少年団剣道大会で優勝し本町の名を県内に高めた功績
- 【永年勤続】
上村利広（税務会計課）、下斗米敏（いちい荘）

いい歯は健康・長寿の源



堀米部会長から賞状の伝達を受ける受賞者（写真は大村政喜さん）

イー歯トップ8020
コンクール受賞者（敬称略）
川島由蔵（門前、81歳）
大村政喜（下円子上組、81歳）
長川タマ（屋敷、81歳）
川向嘉志蔵（駒板、82歳）
関 茂（板橋、86歳）

イー歯トップ8020コンクールの表彰伝達式が二月十三日、健康ふれあいセンターで行われ五人の方が受賞しました。八十歳以上で二十本以上の十分機能している残存歯をお持ちの方を県歯科医師会が表彰しています。町歯科保健部会の研修会に先立ち、堀米榮一部会会長から伝達されました。受賞者は上記のとおりです。

小玉川小に 県教育長表彰



中野新一教育長に受賞の報告に訪れた児童会長の野中くん（中央）と菊池敦子校長先生（右）

小玉川小児童会（野中浩一児童会長）が二月十三日、平成十九年度第二回児童生徒表彰式で県教育長表彰（はばたき賞）を受賞しました。同校は平成四年から取り組んでいるアルミ缶回収活動が認められ、本年度の環境美化教育優良校等表彰で文部科学大臣奨励賞を受賞したことが評価されました。六年間活動を続けてきた児童会長の野中くん（六年）は「閉校する年にたくさんさんの表彰をもらえて嬉しい。今後も活動を続けてほしい」と思いを話していました。

特別養護老人ホームいちい荘に 車いす2台を寄贈



小玉川小学校（菊池敦子校長、児童23人）で2月22日、町特別養護老人ホームいちい荘（大村文男所長）に車いす2台を寄贈しました。平成19年度中に回収した約300個のアルミ缶と環境美化教育優良校等表彰の副賞などを費用にあてて購入したもので、平成14年度の寄贈から合わせて7台になりました。

チャレンジデー2008

対戦相手が 栃木県 益子町 に決定

今回で3回目の参加となる「チャレンジデー2008」の対戦相手を決める抽選会が2月29日に行われ、本町の対戦相手が栃木県益子町（人口24,971人、平成20年1月1日現在）に決定しました。

開催日は、5月28日（水）。15分以上継続して体を動かした人数（人口割合）を競い合います。今回は全国で108の市区町村・地区が参加します。

個人35人・8 団体に町体協会長表彰



表彰状が贈られた受賞者の皆さんは今後更なる活躍が期待されます

平成十九年度においてスポーツ分野で顕著な成績を収めた競技者（町内在住又は町出身の個人、町内のスポーツ団体）に贈られる平成十九年度町体育協会の表彰式が、二月十日の生涯学習フェスティバルの会場で行われ、岩手県大会などでベスト四以上に入賞した三十五人、八団体に表彰状が手渡されました。

平成19年度軽米町体育協会表彰被表彰者（敬称略）

【卓球】（個人8人）		
小笠原涼馬（観音林小6年）	全国ホープス選抜県大会・単	優勝
小林愛美（軽米高2年）	全国高等学校選抜県大会・女子単	3位
南 志歩、長井喜美（軽米高3年）	県高等学校選手権大会・女子複	3位
小笠原笑太（東奥学園高3年、晴山中卒）	青森県高等学校選手権大会・男子複	2位
本田麻童香（盛岡女子高3年、晴山中卒）	県高等学校選手権大会・女子単	3位
長坂貴子（新潟青陵高3年、晴山中卒）	新潟県高等学校選手権大会・女子複	優勝
本田郁美（富士大2年、晴山中卒）	県選手権大会・女子複	優勝
【ソフトテニス】（個人16人、3団体）		
滝沢怜実、菅原奏音（軽米小3年）	県スポーツ少年団交流大会・3年以下	2位
山下彩花、田澤友佳（軽米小4年）	県スポーツ少年団交流大会・4年	優勝
工藤 冴、工藤ゆきの（軽米小4年）	県小学生学年別新進大会・4年以下	3位
横井内美穂（軽米小4年）	県小学生学年別大会	2位
滝沢恵実、松長根美咲（軽米小6年）	県小学生選手権大会	3位
渡邊翔平、浦部 基（軽米中2年）	県中学校新人大会	2位
横井内綾子、川原木智子（軽米中3年）	県中学校選手権大会	3位
松山あずさ、駒目未来（軽米中3年）	県新人大会・一般女子	2位
上澤笑美子（君成田）	県秋季大会・一般女子	3位
軽米中・男子ソフトテニス部	県スポーツ少年団交流大会	3位
軽米中・女子ソフトテニス部	県中学校選手権大会	3位
町ソフトテニス協会	県民体育大会・町村対抗女子	3位
【剣道】（個人4人、3団体）		
坂本将士（軽米小6年）	ライオンズクラブ県下選手権大会	優勝
竹澤匡哲（軽米小6年）	県下スポーツ少年団大会	3位
坂本隆磨（軽米中1年）	県中学校選手権大会	2位
佐々木敦美（門前）	県民体育大会・40歳以上	優勝
軽米雁舞館スポーツ少年団	県下スポーツ少年団大会	優勝
軽米中・男子剣道部	県中学校新人大会	2位
県立軽米高・男子剣道部	県高等学校新人大会	3位
【陸上競技】（個人5人）		
紫葉襟菜（軽米高1年）	県高等学校新人大会・やり投げ	3位
石澤翔太（軽米高1年）	県高等学校新人大会・8種競技	3位
神山真喜子（軽米高2年）	県選手権大会・2部走り幅跳び	優勝
槻木沢勇貴（軽米高3年）	県高等学校選手権大会・やり投げ	3位
大清水一敬（上新町）	県民体育大会・800m	2位
【柔道】（個人1人）		
下堀晁充（軽米高1年）	県高等学校新人大会・100kg級	3位
【サッカー】（個人1人）		
藤田尚之（遠野高3年、軽米中卒）	全国高等学校選手権大会県大会（全国大会ベスト8）	優勝
【野球】（1団体）		
県立軽米高・硬式野球部	秋季東北地区高等学校県大会	4位
【ゲートボール】（1団体）		
町ゲートボール協会	東北総体・64歳以下の部	2位

第2回町民劇場 「かけとくのいち」 ハイライトシーン



大きな拍手を送り応援した観客に沢田神楽から縁起物の振る舞いが行われました



福祉施設での作業体験



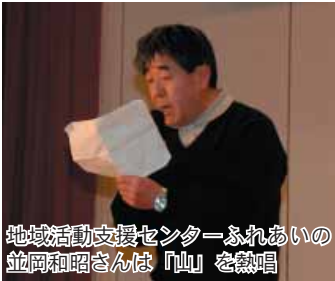
『俺の道』で演舞を披露した中里ちえさん



宇漢米太鼓の指導で取り組んだ晴山中の七人衆



趣向を変えた一景と二景を披露した大正琴の皆さん



地域活動支援センターふれあいの鉦岡和昭さんは『山』を歌唱



エネルギーなよさこいソーランを見せた小軽米の若いママたち

町民みんなが主役になる日

第6回 町民生涯学習 フェスティバル

第6回町民生涯学習フェスティバル（住民の手による生涯学習フェスティバル実行委員会主催）が2月10日、町農村環境改善センターで行われました。世代を超え、地域や職場、各団体などで取り組まれわたしたちの身近な活動として定着してきた生涯学習。ボランティアスタッフと出演者、観客の300人が共につくり上げたフェスティバルの様子を紹介します。

バラエティ豊かな 出演者が会場包む

実行委員会会長の古館壽郎（じくこう）さんが紋付きはかま姿で登壇し「地区や団体などで取り組まれる生涯学習活動のほか、次の世代に伝承していくべき郷土能が町内にはたくさんある。出演者にとつて皆さんの拍手と声援が大きな励みになります。手つこたいたい応援をお願いします」と歓迎のあいさつを行いました。

青空の会による総勢十九人の歌とバンド演奏から幕が開け、全二十七組の演目がスタートしました。園児から小・中・高校生、二十代の母親グループ、郷土芸能、日本山西会、民謡の全国大会優勝経験者なども出演し、世代や地域、経験などを超え、多彩なステージを披露。ステージ上からはそれぞれの活動への思い入れが伝わってきました。

第2回町民劇場で 小学生が大活躍

フェスティバルに向け約二カ月間練習に取り組んだ町民劇場「かけとくのいち」も

上演。江戸時代の寺子屋「志田森学校」を舞台に展開される学校転覆の危機を、ソバかつきの味が解決へと導くお話しを小学生が中心となって滑稽に演じました。

昼食を挟み五時間にも及んだフェスティバルにも、三百人を越える観客は最後まで拍手を送りながら笑顔で楽しんでいました。

最後に同実行委員の戸草内勝（かつ）夫さんが「来年は皆さんもフェスティバルに参加するつもりで、地区や職場で取り組んでいただきたい」と広く参加を呼びかけました。



会場全体を使って躍動感あふれる舞いを披露した円子よさこい組「どっこいしょ」

中学生職場体験の 受入事業所を募集



農場での酪農体験

町教育委員会では、子供たちの勤労観・職業観を早くから育てようと「キャリア・スタート・ウィーク」事業に平成十八年度から取り組んでいます。これは、町内の企業や事業所からの協力のもと、町内の中学二年生全員を対象に職場体験を行うものです。

平成二十年度の実施に向けて、現在、職場体験を受け入れていただく事業所を広く募集しています。働く子供たちの選択肢を広げるためにも、事業所の皆さんの協力と応援をお願いします。問い合わせは、町教育委員会・教育総務グループ（TEL46-4743）へご連絡ください。

自宅で受けられる 介護サービスを お知らせします

自宅に居ながら受けられる介護サービスには、訪問介護（ホームヘルプ）、訪問看護、訪問入浴、居宅療養管理指導（訪問診療）があり、いずれも要介護度（要支援1・2、要介護1～5）に応じた利用限度額の範囲内で原則1割の自己負担で利用できます。

介護タクシーは、要介護1～5の方が利用可能で、原則として車の乗り降りの際の介助部分が介護保険の対象になります。利用や料金については、担当のケアマネジャーと相談し介護サービス計画（ケアプラン）を作成しましょう。

今回は、町内で訪問型サービスを提供する事業所のサービス内容と担当スタッフを紹介합니다。

訪問介護（ホームヘルプサービス）

訪問介護（ホームヘルプサービス）は、自分ではできないことをホームヘルパー（介助員）に代わりにやってもらうもので、利用者の自立を支援する内容に限られます。主な内容は次のものです。

【身体介護】

食事・入浴・排泄・衣類着脱の介助、オムツ交換、体位交換、洗髪、爪切り、身体の清拭

【生活援助】

食事の準備・調理、衣類の洗濯・補修、掃除や整理整頓、ベッドメイキング、生活必需品の買い物、薬の受け取り
※ホームヘルパーは、お手伝いさんではありませんので、直接本人の援助に該当しないことや日常生活の範囲を超える援助（サービス）を行うことは認められていません

桂泉会 くつろぎの家

(TEL 4 7 - 2 3 5 1)



ホームヘルパー

斉藤笑美子さん 山本真喜子さん
一條栄理子さん

【サービスの特長】

- ・訪問時間を守ります
- ・介護サービス計画に従い、統一されたサービスを提供
- ・利用者と家族とのかわりを大切にします
- ・身体障害者のホームヘルプサービスも実施（居宅介護指定障害福祉サービス事業）



軽米町健康ふれあいセンター

(TEL 4 6 - 4 1 1 1)

ホームヘルパー



日向木綿子さん 工藤恵子さん 紫葉貞子さん



苺谷由香子さん 小平みち子さん 瀧澤奈智さん

私たちは「喜んでもらえる在宅サービス」をモットーに誠意を持って対応します。皆さんとの出会い、ふれあいを大切に楽しい時間を過ごしていただけるようスタッフ一同頑張ります。



訪問入浴サービス

訪問入浴サービスは、介護スタッフと看護師が自宅に伺い、健康状態を確認した後、持ち込んだ簡易浴槽を使って入浴介助を行います。



(左から) 看護師の大釜フサ子さん、介助員の玉田茂さん、高橋実佐子さん

「安全・安楽・安心」をモットーに入浴サービスを行っています。
※入浴前に顔色・気分・血圧・体温・脈拍・呼吸などの健康状態の確認を行っています

訪問看護サービス

訪問看護サービスは、自宅で病気療養中の方が、自宅で適切なケアをしてもらうサービスです。また訪問看護師や理学療法士が行うリハビリテーション（機能回復）サービスも行っています。主な内容は右のとおりです。

ねんりん軽米 訪問看護ステーション



看護師（左から）
細川章子さん 北山ひとみさん 福田政子さん



理学療法士

長内貴子さん

住 所	軽米町大字上館15-115-1
電 話	4 8 - 1 0 8 8
サービス内容	訪問看護サービス (介護保険・医療保険)

私たちのモットーは、「尊敬・敬愛・お役立ち・成長・自然遊」です。



【サービスの特長】

- ・必要に応じて理学療法士が訪問しリハビリ指導します
- ・住み慣れたご家庭での生活をお手伝いします
- ・24時間いつでも連絡が取れる体制

血圧・脈拍などの病状確認、健康管理、薬の管理、食事・入浴・排泄の介助、床ずれ予防・処置、痰の吸引、経管栄養チューブ・尿の管・在宅酸素療法機器の管理

二戸訪問看護ステーション ふれあい軽米



看護師
千葉美保子さん

利用者の方々の心身の状態を観察し、適切な看護を提供し、日常生活動作の維持・回復を図ります。住み慣れた家庭で安心して療養生活ができるように支援いたします。

住 所	軽米町大字軽米2-54-5 (健康ふれあいセンター内)
電 話	4 8 - 1 1 0 0
サービス内容	訪問看護サービス (介護保険・医療保険)

【サービスの特長】

- ・在宅緩和ケアに対応
- ・経験豊富なスタッフが揃っています
- ・24時間いつでも連絡が取れる体制



介護タクシー



介護タクシーは、介護保険で要介護1～5に認定された方で、自動車への乗降が困難な方に、車イスごと又はリフトを利用して移送するサービスです。

軽米タクシー訪問介護事業所

(TEL 4 6 - 2 0 1 1)



サービス提供責任者 ホームヘルパー（乗降介助員）

松村慶一さん 松村 修さん 稲森 寛さん 下館鉄夫さん 尾田川和明さん 松村恵子さん

【サービスの特長】

- ・地域で唯一の公共輸送機関を母体とした施設
- ・料金は小型タクシーと同額（寝台車は中型車区分）
- ・介護保険適用での薬の受取可能
- ・車イスの無料貸出



居宅療養管理指導（訪問診療）

病院の医師が月1回自宅を訪問して、療養上の管理や指導を行います。

県立軽米病院

(TEL 46-2411)



介護保険適用外

軽米町社会福祉協議会

(TEL 4 6 - 2 8 8 1)



ホームヘルパー

古館年子さん 鶴飼美也子さん



◀買い物代行する家事援助も行っています

【生活管理指導員派遣事業】

65歳以上の単身又は高齢者のみの世帯で、介護認定に該当しない方への家事援助
【心身障害者ホームヘルパー派遣事業】
障害者手帳を有する65歳未満の方を対象に身体介護と家事援助

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所
【☎46-2004】

子供の安全を守ろう

平成19年中の「子供に対する声掛け事案」による警察への通報件数は144件（前年比21件減）で、うち87件が小学生を狙ったものです。下校時間帯や通学路上での発生のほか、付きまといや携帯電話での撮影など、悪質なケースも見受けられます。

●子供たちに「イカのおすし」を教えましょう

- ・ついてイカない
- ・のらない
- ・おおごえを出す
- ・すぐ逃げる
- ・しらせる



●大人も心掛けましょう

- ①登下校は集団で行わせ、外出先の確認をしておきましょう
- ②登下校の見守りを行いましょう
- ③子供たちにできるだけ防犯ブザーなどを持たせましょう
- ④不審者情報や事件は110番又は最寄りの警察に連絡ください

●不審者情報を発信しています

- ◇岩手県警ホームページ
www.pref.iwate.jp/~hp0802/
- ◇携帯電話サイト
www2.wagamachi-guide.com/iwate/apps/index.asp

1月の事故と救急の数字

※見直しにより前月の数値と異なる場合があります
※（累計）は1月からの合計

▶市内の交通事故

	当月（累計）	昨年比
人身事故	0件（0件）	-1
死亡者	0人（0人）	-2
負傷者	0人（0人）	-1
物損事故	12件（12件）	-4

▶救急車の出動回数

35回（35回） +2

▶飲酒運転検挙者はありません

交通事故死 ゼロを目指す日 全国一斉行動

2月20日と4月10日



町内事業所などを巡回しながら交通安全を呼びかけました

町交通安全対策協議会（会長 山本賢一町長）による「交通事故死ゼロを目指す日」に合わせた町内巡回活動が、二月二十日に行われました。交通事故死事故が発生しないよう一人ひとりが交通安全を意識することを目的に全国一斉の取り組みとして本年度から設けられました。

町交通指導隊の田中辰男隊長など十人が町内七カ所の事業所を巡回し、チラシや町交通安全母の会手づくりの交通安全マスコットを配りながら「交通安全を心掛けてください」などと呼びかけました。



みんなの交通安全願い 母の会マスコットづくり

町交通安全母の会（工藤育子会長）による交通安全マスコット作りが二月十三日と十七日に、延べ四十一人が集まって役場で行われました。町内の交通安全啓発の街頭活動などで年間を通じて配られるもので、毎年会員がアイデアを持ち寄って手づくりで仕上げています。今回は色とりどりのお花を使ったミニ花束を約八百個作製。一年の交通安全を願い丁寧に仕上げていました。



ことしの花壇を イメージアップ

花いっぱいコンクール表彰式＆フラワーアレンジメント講習会

地域花壇の部4連覇の高柳・花の会（中央）など27組の個人・団体が表彰されました

第十九回町花いっぱいビューティ軽米推進コンクールの表彰式が二月二十七日に役場で行われ、地域、学校、家庭のそれぞれの部門の受賞者二十七組に賞状と記念品が贈られました。続けて開催されたフラワーアレンジメント講習会には二十六人が参加。鉢底には水の浄化作用がある町内産の木炭を敷き、淡く柔らかな色合いの花々を飾りながら立体感を表現。ことしの花壇づくりの参考にしていました。



飼料米生産者のほか町、JA北いわて、パルミート、ボーランドなど飼料用米関係者が出席して開かれた設立総会

中、飼料用米の栽培は田んぼを耕作できる喜びが増え、私たち農家も期待している。環境に優しい安全・安心な米を作りたい」と意欲を渗ませ「町やパルシステムさんには消費者への橋渡し役として期待している。飼料用米は『岩手・軽米産』と言われる

飼料用米の栽培状況と 豚肉加工・販売までの流れ

平成18年10月から検討が始められた飼料用米の栽培は、19年産から町内507.4㌦のほ場で実証栽培が始められ約24㌦を収穫しました。飼料用米は、秋田県の有限会社ボーランド（豊下勝彦代表取締役）で生産される桃豚の飼料に1割程度混ぜられ、出荷前70日間与えられます。加工された精肉はパルシステム生活協同組合連合会（本部東京都、総組合員約100万人）を通じて、関東圏1都8県の地域生協で組合員向けに販売されています。

ようブランドづくりをめざしたい」と話していました。この日は、パルシステムで実際に販売される飼料用米で育てられた豚肉（名称「日本の米豚肉」）の試食会も開催。通常の国産豚肉よりも白っぽく柔らかな食感を比較しながら味を確かめていました。

食生活改善推進員 14人が新たに誕生

平成十九年度の町食生活改善推進員養成教室の全課程が終了し、二月十四日に健康ふれあいセンターで閉講式が行われました。健康づくりの三つの柱「栄養・運動・休養」について勉強し、雑穀などの調理も実習。全ての講座に出席した十四人に修了証が贈られました。今後は各地域での活躍が期待されます。



講座や実習などを通して食生活の大切を学んだ受講生の皆さんに修了証が贈られました

飼料用米栽培研究会を設立

北いわて農協

生産基盤の確保・環境保全・食料自給率の向上への期待も

北いわて農業協同組合（中里三雄代表理事組合長）が設立する飼料用米栽培研究会の設立総会が二月二十一日に瀧村屋で開かれ、遊休水田を活用した養豚用飼料米の本格的な栽培がスタートしました。生産調整による休耕地が増加する中、水田の利活用を進めるとともに、国内の食料自給率の低下、最近では輸入食材の価格高騰への対応策として飼料用米の栽培は、注目を浴びています。

研究会には町内

で稲作を営む十八

人が参加し、会長

には川原木賢一さ

ん（車門）が選出

されました。川

原

木さんは「生産調

整で耕作地が減る

中、飼料用米の栽培は田んぼ

を耕作できる喜びが増え、私

たち農家も期待している。環

境に優しい安全・安心な米を

作りたい」と意欲を渗

ませ「町やパルシステムさん

には消費者への橋渡し役とし

て期待している。飼料用米は

『岩手・軽米産』と言われる



飼料用米の刈取り作業（平成19年10月15日、円子ほ場）

環境保護への 心がけを学ぶ



衛生画像が印刷されたアースボールを手に地球と環境保護の大切さを実感しました

軽米中学校（嵯峨進校長）で二月六日、岩手大教育学部准教授の梶原昌五さんを講師に環境教育講演会を開催しました。生徒は、地球の衛星画像が印刷されたアースボールを使って陸と海の割合を調べたり、地球上の真水は全体の二・八％に過ぎないことや直径五十㌦の地球では標高八千㌦のエベレストも〇・三ミリの人間はいかに狭い領域で生活しているかなどを実感。「コンセントを抜くなどを心掛けて生活したい」と環境保護の大切さを感じていました。

季節感じる福祉のコーラス披露



初めての合唱に取り組んだ軽米高校音楽部と童謡を歌う会によるコーラス発表

県立軽米高校音楽部（西館美幸^{みゆき}校長）と軽米童謡を歌う会（山下瑠美^{るみ}子会長）が二月一日、介護老人保健施設花の里かるまい（菊池岩雄^{いわお}所長）を訪れコーラス発表を行いました。高校生は四季をテーマにしたメドレー曲を、童謡を歌う会は「春よこい」などを熱唱。最後は二十四人全員が「千の風になつて」を合同で歌い上げました。静かに聞き入った施設利用者約六十人は、手拍子を送ったり、目頭を抑えながら心温まるコーラスを楽しんでいました。

笑いと感動の神山節を披露

晴山中学校（福嶋敦史校長）のPTAを対象にした家庭教育学級が二月七日に開かれ、IBC岩手放送アナウンサーの神山浩樹^{ひろき}さんの熱血感あふれる話題に耳を傾けました。「挑戦・発見・感動」と題し、ホノルルマラソンと気象予報士への挑戦、再発見させられた方言の魅力について講演。臨場感とユーモアあふれる語りに会場は笑顔に包まれました。参加者は「郷土を大切にすることを実感し、笑顔は心を元気にすると思った」などと感想を話していました。



感動と笑いの熱弁を振るった神山さん（中）からは「雑穀などの町の『本物』をもっと積極的にPRを」と応援メッセージもいただきました

10年の節目に更なる連携誓う



町消防団と南郷消防団との今後の連携・交流を確かめ合った両団員の交流会

八戸市南郷消防団（小林勝雄^{かつお}団長）と町消防団（増尾俊一^{しんいち}団長）との交流会が、二月二日に瀧村屋で行われました。平成十年の向川原地区山林火災を機に相互協力協定を締結以來十回目を迎え、また南郷消防団は四月から八戸市消防団に改組することから同団としては最後の交流会となりました。増尾団長は「南郷消防団は全国消防操法大会で優勝するなど学ぶところが多い。火災や捜索活動など今後も隣接地域として連携を深めていきたい」と話していました。

救命AEDの使い方を学ぶ

町婦人消防協力隊連絡協議会（松浦ちか子^{ちかこ}会長）による救命救命心肺蘇生法講習会が二月十七日、十七人が参加して町防災センターで開催されました。二戸消防署軽米分署員の動作を参考にしながら心肺停止状態の際に用いるAED（自動体外式除細動器）の使い方について「パッドを貼り付ける位置はここで良いの」などと質問しながら一連の動作について体験。意識の確認や人工呼吸など救急隊到着までの応急処置についてしっかりと学んでいました。



軽米分署員の指導のもとAED（写真中央下）の使い方について注意深く受講していました

シルバー技能に磨きをかけて

町シルバー人材センター（鶴飼義雄^{よしお}理事長）主催の技能講習会が二月十八日から三日間、町老人福祉センターで開かれました。今回は襖と障子の張替え作業について、古い紙の剥がし方から糊の塗り方、紙の張り方まで一連の作業手順とコツを習得。全過程を受講した二十四人に修了証が贈られました。高齢者の生きがい対策として同人材センターには概ね六十歳以上の方が約百人登録。庭木の手入れから襖・障子の張替えなどの作業を有償で行っています。



実際に障子の張替え作業を通して手順やコツを教わる受講生の皆さん

歌と踊りのチャリティー公演



春の装いで華やかなステージが繰り広げられ、出演者にはおひねりも差し出されました

第十一回春の芸能祭り（町芸能愛好会主催）が二月二十四日、町農村環境改善センターで約三百人を集めて開催されました。町内のほか青森県南などから全三十一組、延べ八十人の踊り手が出演し自慢の踊りを競演。春らしい華やかな芸能ステージが繰り広げられました。同愛好会の小林一郎^{いちろう}会長が「十五回、二十回と歌のある限り踊り続けていきたい」とあいさつ。この日の収益金の一部が、寄付金として町社会福祉協議会の菅原皓文^{こうぶん}会長に手渡されました。

音更町だより

昭和60年10月31日姉妹提携

音更高校開放講座「自然観察会」が2月9日に音高の森で開かれ、親子28人が参加しました。子どもたちは、キツネの足跡やクルミの冬芽などを観察し、厳しい冬の間も生き物がたくましく生きていることを実感していました。



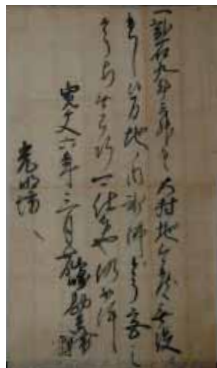
先生達の軽妙な解説を興味津々に聞く子どもたち



◆プロフィール◆
 【氏名】 Elizabeth DeLacy
 (エリザベス・ディレイシー)
 【国籍】 アメリカ合衆国
 【略歴】 アーラム大学卒
 2007年8月3日に町の英語指導助手として着任。
 本を読むことが好き。

リズィーのかるま日記

Lizzy: Yamashita-san, did you have fun at Angela's party?
 リズィー：山下さん、アンジェラとのパーティーは楽しかった？
 Yamashita: Yes I did. The nabe was delicious and it's interesting to see where previous ALTs end up.
 山下：楽しかったよ。鍋もうまかったし、前に軽米にいたALTが今どうしてるか分かって、楽しかったよ。
 Lizzy: Did you like her friends?
 リズィー：彼女と一緒に来た友達はどうだった？
 Yamashita: Yes, all three of them. I've met her boyfriend before, but her other friends were very nice. All four of them in computer engineering too. That's pretty interesting. They talked about stuff I couldn't understand most of the evening.
 山下：うん、3人とも良い人たちだったね。彼女のボーイフレンドには前に会ったことがあるけど、あとの2人もいい人だったね。彼ら4人ともコンピュータ関係の仕事してるなんておもしろいね。話の内容がよく分からなかったけど。
 Lizzy: Yeah. My dad's an engineer too, and he's always trying to talk to me about stuff that I just don't understand. One of her friends, Ray, worked for a company that protects computers from viruses. I thought that was pretty interesting.
 リズィー：そうね、私の父もエンジニアで、いつも私が理解できないような話ばかりするのよ。アンジェラの友達の中のレイはコンピュータウイルス関係のソフトの会社で働いているんだって。興味深いわね。
 Yamashita: Yes, I thought so too, although he wouldn't sing any Karaoke. Only Angela would sing. You and Ben didn't sing much either.
 山下：そうね。彼はカラオケは歌わなかったけどね。アンジェラは歌ってたけど、リズィーさんとベンさんもあまり歌わなかったよね。
 Lizzy: I guess we're all just a little embarrassed. We don't have karaoke boxes in America or Canada. If you want to sing karaoke, you have to sing on a stage in front of a lot of people.
 リズィー：ちょっと恥ずかしかったんだと思うわ。アメリカにもカナダにもカラオケボックスって無いから。カラオケはたくさんの人を前にして、ステージで歌わなきゃならないのよ。
 Yamashita: hmm, I guess I understand, but I wish you had sung.
 山下：分かる気がするけど、リズィーさんにも歌ってほしかったな。
 Lizzy: ummmm. . . I don't think so . . . I sound like a dying cat when I sing.
 リズィー：んー、それは無理ね。私って歌おうとすると、死にそうな猫みたいになっちゃうから。



「大村家古文書」に記された黒印状

円子神社別当の大村家の古文書に「大村地二石九斗三升高は無税とする」と大村氏の先祖光明坊にあてた山崎勘太夫発給の黒印状がある。寛政七年の百姓一揆を治めた勘太夫は東栄と名乗った。五代目藩主真興の四男であり、文政三年（一八二〇年）に死没した。（町文化財調査委員 平船圭子）

笑顔あつまれ！ みんなの広場

我が家の人気者 あこやかさん



ふく だ しゅう ま
福田 柊 真くん（3歳1カ月）
 愛称：しゅうくん
 （上野場）昭則さん・房子さんの長男

パワーシヨベルとダンブでの工事現場ごっこが大好きなしゅうくん。じいじと乗るトラクターはもちろん、自分専用のトラクターの運転も得意な大のトラクター好き。最近ではお気に入りの歌や踊りのレパートリーが増え、弟の優友くんに歌を聞かせたりお世話もしたりとお兄ちゃんぶりを発揮しています！

■夢・希望・えんぴつ■

みんなと一緒に

去年の十二月、ぼくは生徒会長になりました。みんなは「がんばれよ」と励ましてくれますが、ぼくはとても不安でした。今までは、三年生が相談にのってくれましたが、先輩に頼るわけにはいかなかったからです。

日一人で悩んでいました。そんな時です。三人しかない執行部のうち二人が体調

今月の雑穀献立

粒そばの青菜炒め



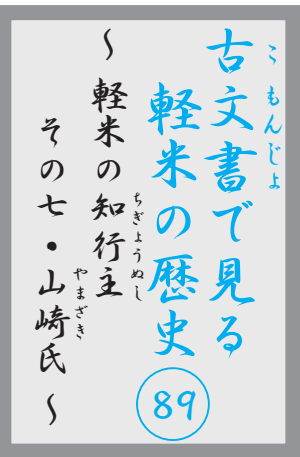
【材料】 4人分

- ・粒ソバ……………30g
- ・イナキビ……………30g
- ・小松菜……………200g
- ・パプリカ……………少量
- ・醤油、ゴマ油、塩…………各適量

【作り方】

- ①粒状のソバとイナキビを蒸します
- ②小松菜は固茹でし、ゴマ油で炒めて塩を薄く振り掛けます
- ③醤油で味を調え、①のソバとイナキビを上からまぶしてできあがり

円子の知行主山崎勘太夫の祖先は下閉伊郡の山崎大内蔵介で、その三男の子藤兵衛、四男の子市郎右衛門の子勘兵衛、勘右衛門、円兵衛の四人が八戸家中となったが、その年代は不明である。初代藩主直房と共に八戸へ越し



てきた人数にも含まれていないが、寛文五年（一六六五年）の分限帳には軽米通百石も含め二百石の知行が記されている。藤兵衛は御用人を務めた後、家老となり、後を継いだ勘兵衛も家老となり、八代藩主真興の代まで家老職を務めた家である。八戸藩では最高の知行高四百八石の太身であった。寛政七年（一七九五年）、久慈の農民が新しく課税された税金の高さに反対し、時の家老・役人の免職を求め久慈から大野を通り、途中の鉄山、役所を壊し八戸まで強訴をしようと押し寄せた。藩では、山崎勘太夫と中里弥次右衛門の二人に事件の処理にあたらせ、無事に事件を解決した。

円子神社別当の大村家の古文書に「大村地二石九斗三升高は無税とする」と大村氏の先祖光明坊にあてた山崎勘太夫発給の黒印状がある。寛政七年の百姓一揆を治めた勘太夫は東栄と名乗った。五代目藩主真興の四男であり、文政三年（一八二〇年）に死没した。（町文化財調査委員 平船圭子）

今月の俳句

北光吟社 一月例会句会

裏山の木立のそよぎ今朝の春 古里裕子
 新しき半紙の滲み寒の入り 川島由蔵
 旧正やほうじ茶するひとり膳 早川慶子
 小正月行事の一つ農はだて 中野とき
 ななかまど木の実を植えてみたしとも 淵沢鉄馬
 かけてみて毛皮衿巻落つかず 国久黄実
 娘は杵を母の手がへし餅をつく 千葉紅園
 水鳥の流れきらめく寒日和 松村英子
 枝々に雪ののりたる林かな 永井きよの
 神棚のおれを替へて年の暮 端川石造
 つんつんと何を漁るや寒鴉 三上千栄女

お知らせ
情報
Information平成21年度採用の
試験を実施します

国家公務員Ⅰ・Ⅱ種

- ▶受付期間
▷Ⅰ種：4月1日～8日
▷Ⅱ種：4月11日～22日
▶1次試験日
▷Ⅰ種：5月4日（日）
▷Ⅱ種：6月22日（日）
【問い合わせ先】人事院東北事務局（☎022-221-2022）

国税専門官（大卒程度）

- ▶受付期間：4月1日～14日
▶受験資格（次のいずれかに該当すること）
▷昭和54年4月2日から昭和62年4月1日生まれの方
▷昭和62年4月2日以降生まれの方で、①大卒者または平成21年3月までに大学を卒業見込みの方、②人事院が①と同等と認める方
【申込の請求・問い合わせ先】
仙台国税局人事第二課（☎022-263-1111）または二戸税務署（☎23-2701）

東北国立大学法人職員

- ▶受付期間：4月1日～10日
▶受験資格：昭和54年4月2日以降に生まれた方

いちい荘の2月誕生会のお祝いに駆けつけた
軽米幼稚園の年長組の園児たちが男の子ははかま姿で優美な
舞いを女の子は華やかな振袖姿で
春を感じさせる踊りを披露2月7日で105歳を迎えた畠山ソメさん（右）
と年の差99歳の対面も実現しました

- ▶1次試験日：5月18日（日）
▶1次試験地：盛岡市ほか
【申込の請求・問い合わせ先】
東北地区国立大学法人等職員
採用試験実施委員会（☎022-217-5676）

いわて就職面接会を
アピオで開催します

- 平成21年度採用予定の県内
企業との面談、ハローワークに
よる職業相談などを行う就職面
接会を開催します。
▶日時：4月16日（水）
午後1時～5時
▶会場：岩手産業文化センター
アピオ（滝沢村）
▶対象：平成21年3月卒業予定
の大学・短大・専門生など及
び既卒者・一般求職者
【問い合わせ先】ふるさといわ
て定住財団（☎019-653-8976）

土地家屋について
気軽に相談ください

- 県土地家屋調査士会二戸支部
では、4月1日の「表示登記の日」
に無料相談会を開催します。建
物の新築、土地の分筆、境界問
題などお気軽に相談ください。
▶日時：4月1日（火）

- 10:00～15:00
▶会場：二戸市シビックセンター
▶相談内容：土地の分筆・合筆・
地目変更、建物の新築・増築、
滅失登記、土地・建物の調査
測量、境界問題など
【問い合わせ先】大村義明土
地家屋調査士事務所（☎46-2027）

住宅リフォーム前に
まずは相談ください

- 高齢者が安心して住宅リ
フォームや建て替えの相談を行
えるよう、県では講習会を受講
した建築士を高齢者向け住宅リ
フォーム相談員として登録して
います。介護保険による住宅改
修などお気軽に相談ください。
▶相談員名簿の閲覧場所
市町村・県庁・振興局の福祉
または住宅担当窓口、地域包
括支援センターなど
【問い合わせ先】県庁・建築
住宅課（☎019-651-3111
／ <http://www.pref.iwate.jp/~hp0608/>）

裁判所執行事件が
盛岡本庁に移ります

- 盛岡地方裁判所二戸支部で取
り扱っていた執行事件のうち、

- 次のものは平成20年4月から盛
岡地方裁判所本庁での取り扱い
に変わります。なお、執行官が
扱う動産執行事件等は、引き続
き二戸支部で取り扱います。
▶対象事件：不動産執行・担保
権実行事件、債権等執行・担
保権実行事件、配当等手続事
件、財産開示手続事件
【問い合わせ先】盛岡地方裁判
所第2民事部（☎019-622-3165）

交通事故が起きたら
無料相談にお電話を

- 日本損害保険協会では、交通
事故無料相談を行っています。
保険の専門員が保険金の請求や
手続きについてお応えします。
▶相談日時：月～金曜日の午前

内科		休日当番医		歯科	
むらかみ医院いたみのクリニック (☎48-1500)	軽米町 岩崎	3月16日(日)	関歯科医院 (☎38-2937)	二戸市 浄法寺町	
よこもり眼科クリニック (☎22-2230)	二戸市 堀野	20日(木)	窪島歯科医院 (☎23-2425)	二戸市 福岡	
千葉耳鼻咽喉科・小児科 (☎23-2009)	二戸市 福岡	23日(日)	こしみず歯科クリニック (☎33-4618)	一戸町 一戸	
小野寺クリニック (☎46-2822)	軽米町 門前	30日(日)	曾根歯科医院 (☎27-3108)	二戸市 金田一	
浄法寺診療所 (☎38-2021)	二戸市 浄法寺町	4月6日(日)	三澤歯科医院 (☎23-2445)	二戸市 福岡	
おりそ内科・循環器クリニック (☎22-2251)	二戸市 福岡	13日(日)	小野寺歯科医院 (☎33-3050)	一戸町 高善寺	

戸籍の豆知識

養子縁組

養子縁組は法律上の親
子関係を作ること、実際の
親子であるのと同じよ
うにみなして相続権などの
様々な権利が発生します。
養親になれる人は、結
婚をしている人、もしくは

- 【問い合わせ先】
役場・町民生活課（☎46-4735）

20歳以上でなければなり
ません。また養子にできる
相手は、自分の嫡出子（夫
婦間の子ども）以外で自分
より年下の人に限られ、第
三者はもちろん婿や孫を養
子にすることもできます。

図書館だより

— 今月の新着図書 —

【児童書】

ホタルの川

作：おおつきひとみ
絵：ひろいのりこ



親友の直樹が真冬
にホタルを見たこ
とがあると言いだ
したことからケン
カになり…。少年
たちの友情の暖か
さを描く。

見てごらん！名画だよ

文：マリー・セリエ

入場無料の美術館
へようこそ。はじ
めて名画にふれる
子どもたちを想い
ながら、45作品
を選び、分かりや
すい言葉でやさし
く解説。



【一般書】

自然とかがくの絵本

編著：赤木かん子

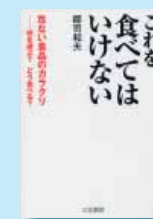


自然科学の絵本
は、子どもたちに
熱狂的にうけ、読
み聞かせにもびつ
たり。自然科学絵
本・図鑑600冊
を総解説。

これを食べてはいけない

著：郡司和夫

みんな知らずに危な
い食品を食べてい
る！「原料表示」で
は見分けられない隠
された「食品の履歴
書」を公開し、自分
と家族の健康を守る
自衛策を伝授する。



忘れていませんか？

図書館の本を返し忘れて
いませんか？休館日、時間
外には図書館玄関前の返却
ポストをご利用ください。

税の一口メモ

申告期限と延滞税

- 【問い合わせ先】
二戸税務署（☎23-2701）

平成19年分の申告と納税期限
は、所得税と贈与税が3月17日
（月）、個人事業者の消費税及び地
方消費税は3月31日（月）です。
定められた期限までに納付され
ない場合には、原則として法定納
税期限翌日から完納日までの日数に

応じて延滞税がかかります。その
割合は、納税期限翌日から2カ月を
経過する日までは「年7.3%」と「前
年の11月30日の日本銀行が定め
る基準割引率+4%」のいずれか
低い割合、2カ月を経過した日以
降は14.6%になります。

確定申告はお早めに

町県民税と所得税は
3月17日（月）まで
個人事業者の
消費税・地方消費税は
3月31日（月）まで

3月 March

16	日	町バドミントン大会【体】
17	月	申告相談【環】 9:00～12:00、13:00～15:30
18	火	二戸地区法律相談【二戸市役所】 10:00～15:00 (予約 ☎23-3111)
19	水	1歳児健診【ふ】 13:00～13:30受け付け 平成18年10月～19年1月生まれ対象
20	木	【春分の日】
21	金	全血献血【県北農業研究所】 10:00～、 【岩手富士】 12:00～、【太陽荘】 14:30～
22	土	にこにこ広場【軽米保育園】 9:30～11:30
23	日	夜間と休日の納税相談【役場・税務会計課】～25日
24	月	
25	火	
26	水	ピヨピヨ教室【ふ】 10:00～12:00 介護予防教室しゃっきとクラブ【ふ】 13:00～
27	木	あのなっす相談所【老】 10:00～15:00
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

4月 April

1	火	
2	水	乳児健診【ふ】 13:00～13:30受け付け H19年5月、8月、11月、H20年1月生まれ対象
3	木	胃がん検診【晴山公民館、晴山農業構造改善センター】 6:00～8:30受け付け 第57回軽米馬匹市場品評会【軽米家畜市場】 あのなっす相談所【老】 10:00～15:00
4	金	胃がん検診【ふ】 6:00～8:30受け付け
5	土	
6	日	胃がん検診【環】 6:00～9:00受け付け 山火事防止パレード【町内】 9:00～
7	月	胃がん検診【小軽米生活改善センター】 6:00～8:30受け付け
8	火	胃がん検診【米田農業構造改善センター、笹渡農業 構造改善センター】 6:00～8:30受け付け こころの相談【ふ】 14:00～15:30 二戸地区法律相談【二戸市役所】 10:00～15:00 (予約 ☎23-3111)
9	水	胃がん検診【円子生活改善センター、屋敷自治公民館】 6:00～8:30受け付け ピヨピヨ教室【ふ】 10:00～12:00
10	木	胃がん検診【山内農業構造改善センター、高家生活 改善センター】 6:00～8:30受け付け あのなっす相談所【老】 10:00～15:00
11	金	胃がん検診【環】 6:00～8:30受け付け
12	土	にこにこ広場【軽米保育園】 9:30～11:30
13	日	
14	月	
15	火	

(カレンダー中の開催場所については【 】で下記のとおり表示します)
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館 図:町立図書館
 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター 老:老人福祉センター
 フ:雪谷川ダムフォレストパーク・軽米 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館
 ハ:ハートフル・スポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野球場



発行/岩手県軽米町 編集/総務課
(毎月第2水曜日発行)

〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
 TEL0195-46-2111(代) FAX0195-46-2335
 URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

ある日の風景



かるまい子ども読書推進部会で2月20日、ボランティアの方を含め15人が集まって町内保育施設や町立図書館の壊れた絵本などの修復作業を行いました。背表紙から剥がれ落ちたり、破けてしまった部分などを和紙や糊を使って接着し直したり、円柱棒を使って形を整えるなど約100冊を修復。本を大切にすることもまた子供たちに伝えていきたいものです。

冠婚葬祭 1月届出分 ＜敬称略＞

おめでた

元屋町 たま た りょう ご 玉田 陵 悟 (浩之)
 清水 み か もりしょう と 三ヶ森 翔 人 (純)
 蛇口 にしだて る き 西 館 瑠 姫 (孝則)

おしあわせに

{ 大村 卓 也 (本 町)
 吉田 江 美 子 (盛岡市)

おくやみ

沢 里 長 坂 武 男 (54歳)
 市野々 畑 林 清 助 (90歳)
 君成田 永 井 ミ ツ (90歳)
 民田山 円 館 藤 太 郎 (81歳)
 鶴 飼 澤 邊 喜 三 郎 (83歳)
 下門子 大 村 純 孝 (37歳)
 早 渡 高 田 ト ク (84歳)
 観音林南 長 坂 勝 廣 (68歳)
 中 村 圓 館 タ キ (96歳)
 門 前 中 嶋 實 (79歳)
 清水 古 館 タ マ (96歳)
 門 前 佐 藤 利 夫 (80歳)
 戸草内 福 田 朝 見 (76歳)
 松ノ脇 松 脇 幾 松 (94歳)
 山 口 瀧 澤 勝 郎 (66歳)
 大 沢 工 藤 正 昭 (52歳)
 百目金 板 橋 キ セ (96歳)
 牛ヶ沢 田 名 部 ヨ シ ノ (83歳)
 屋 敷 松 田 サ ダ (86歳)
 貝 喰 清 水 大 曜 (46歳)
 鶴 飼 鶴 飼 光 子 (58歳)
 早 渡 早 川 正 一 郎 (84歳)

●人の動き ＜平成20年1月31日現在/町民生活課調べ＞

男 5,477人 (-16) / 女 5,682人 (-6)
 合計 11,159人 (-22) / 世帯数 3,756 (+3)
 ※ () は前月比
 転入 14人 (14人) / 転出 15人 (15人)
 出生 4人 (4人) / 死亡 25人 (25人)
 ※ () は1月からの累計

ほ っ と ひ と い き / 編 集 後 記

携帯電話普及率が県内
 携で77%超(2004年実績)と4人に3人が持つほどに。私も携帯し始めてから10数年が経ち、無くてはならないものになってきました。先日突然故障し「圏外」状態に。そんなときに限り緊急連絡が続くタイミ
 ングの悪さに凹みました。頼り過ぎるのも考えも
 頼の。携帯電話に限らず便利なものが増えていますが、一つに頼り過ぎるといざというとき何もできなくなることもあります。「依存」する前に上手く使うことを心掛けましょう(義信)